

1 PA（パフォーマンス・アセスメント）とは

従来の既存のテストによって測定できる能力を学力と規定するのではなく、社会に求められる能力（思考力・判断力・表現力など）を測定するために開発されてきている新しいタイプのテストである。

パフォーマンス・アセスメントのパフォーマンスとは「演奏」「演技」といった意味に近い。つまり、パフォーマンス・アセスメントとは、「ある特定の文脈のもとで、さまざまな知識や技能などを用いながら行われる、その人自身のふるまいや作品を直接的に評価する方法」のことである。

例えば、フィギュアスケートの場合、実際に数分間演技させて、それを専門家からなる複数の審判が、一定の採点基準にしたがって採点する。それと同じように学力を評価しようというのが、パフォーマンス・アセスメントである。パフォーマンス・アセスメントでは、フィギュアスケートの演技の代わりに、「パフォーマンス課題」を与えて解決・遂行させ、それを採点者が、「ルーブリック」と呼ばれる採点基準を用いながら、評価していく。

特 徴

- ・最終的な答えそのものより、推論の過程、数学的思考を表現する能力を重視し、評価する測定ツール。
- ・課題解決のための有効な手段や知識を総動員し、最終結論に至らなくても、自分が考えた手段、道筋を第三者にわかりやすく書き表す表現力の評価を重視する。
- ・学力や習熟度の異なる子どもたちがテスト課題に取り組んで最善の能力を発揮できること、能力を一元的に並べて序列化するのではなく多元的な尺度で思考方法を評価し、学習の段階を支援することが目的。

2 パフォーマンス課題

パフォーマンス課題は、必ずしも実技的なものである必要はない。重要なのは、「評価したいと思っている能力ができるだけ直接あらわれる課題」「一まとまりのプロセスを含んだ課題」「知識や技能などを複合的に用いる課題」であることである。

3 ルーブリックの作成と評価手続き

このような課題によって「可視化」されたパフォーマンスを、ルーブリックを使って「解釈」し、評価していく。ルーブリックとは「成功の度合いを示す数値的な尺度と、それぞれの尺度に見られる認識や行為の特徴を示した記述後からなる評価基準表」のことである。以下に示すような4つの観点がある。

- ・概念的知識（問題の中の数量的関係が理解できているか）・・・わかる
- ・手続き的知識（解法の手続きを正しく実行できているか）・・・できる
- ・推論とストラテジー（数学的に筋道だった考え方をしているか）・・・考える
- ・コミュニケーション（考え方をきちんと説明できているか）・・・伝える

参考文献 ・「パフォーマンス・アセスメントによる学力評価」
・「パフォーマンス・アセスメントとは？」

目黒区立菅刈小学校
京都大学 松下 佳代

パフォーマンス課題(自作)

(「実践事例集 パフォーマンス・アセスメントによる学力評価 ～算数の思考力・表現力を観る
～目黒区立菅刈小学校」参考)

[児童への提示方法]

- ・どのように考えたのか、その考え方を、式、言葉、図、絵などを使って、分かりやすく書いてください。
- ・正しい答えが出せなくても、考え方がきちんと書けていれば、点数がもらえます。しかし、答えが正しくても、考え方を書いていなければ、点数はもらえません。
- ・思いついた考え方は、思いついただけ書いてください。

[問題]

ますほ北小学校では毎年、うんどう会で学年ごとに、ひょうげんうんどうを行っています。3年生はボールをつかったひょうげんうんどうです。3年生のみんなはやる気まんまんです。

休み時間になりました。3年1組のみんなはれんしゅうをするために、ぜんいんボールかごへむかいました。1人1こずつボールをもって出ようとすると、ボールが足りないことに気がつきました。

そこで内田さんが「4人1組になって、ボールを3こずつつかうようにしよう。」と言いました。するとボールはちょうど足りました。

3年1組の人数は36人です。かごに入っていたボールの数は何こでしょうか。

パフォーマンス課題の評価用ルーブリック

	0	1	2	3
人数とボールの関係	人数とボールの関係に気がついていない。	人数とボールの関係がどちらもまちがっている。	人数とボールの関係がどちらか一方正しい。	人数とボールの関係のどちらも正しい。
計算のしかた	計算がまったくできていない。	計算が2カ所まちがっている。	計算が1カ所まちがっている。	計算がすべて正しくできている。
問題の考え方 (多面的な考え方)	考え方が書かれていない。	1つの考え方で考えている。	2つの考え方で考えている。	3つ以上の考え方で考えている。
答えの書き方	式や言葉や絵などを書いていない。	自分の考えを、式や言葉や絵などに表した。	式や言葉や絵などを使い、答えを出している。	式や言葉や絵などを使い理由を説明している。